

実践8 保健体育

単元名：球技 ゴール型 バスケットボール（第1学年）

教科の目標（3）学びに向かう力、人間性等	
生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。	
単元の目標（3）学びに向かう力、人間性等	単元の評価規準（主体的に学習に取り組む態度）
（球技に積極的に取り組むとともに、）フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとする、（一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとするなどや、健康・安全に気を配ること）ができるようにする。	①作戦などについての話し合いに参加しようとしている。【参画】 ②マナーを守ったり相手や仲間の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。【公正】

※他の単元で指導し、評価する部分について、()で示している。

○ 指導と評価の計画（全12時間）

※参画シート「参シ」、フェアプレイシート「公シ」、知識技能シート「知シ」と表示。

時間	学習内容・活動		評価機会・方法		
			知・技	思	態
1	オリエンテーション ルールと特性、ハンドリング 単元の見通しと授業の流れの確認	フェアプレイとは 未来シート			
2	ボール操作				
3	ドリブル、シュート、パス	話し合いへの参加の仕方		○参シ	
4	技術の名称やポイントを確認	フェアプレイの意義と価値 動きの名称やポイントをシートに追記	○知シ		
5	数的優位な状況の動き方 ハーフコートの2対1、3対2	動きのポイントや課題を伝え合う			
6	空間に走り込む動き方 ハーフコートの2対2、3対3				
7	(パス&ラン) (ドリブル有/無)		○観察		
8	3ON3	作戦タイム 良かった点と課題点 攻防の作戦	○観察		
9	ルール確認 話し合いへの参加の仕方の振り返り				①観察 参シ
10	リーグ戦	グッドフェアプレイを見つけよう		○公シ	
11	男女混合 男女別	フェアプレイを守ろう			②観察 公シ
12		単元の振り返り 未来シート	総括的評価		

◎ キャリア教育の視点を踏まえた授業改善

「未来シート」を単元始めと単元終わりに活用した。教師側の願い「かかわる力を身に付けさせた」を基に、身に付けたい力として「かかわる力」の中から必ず1つは選択するよう指導し、教師と生徒が同じゴール「かかわる力の育成」を目指すこととした。学習活動として、行動の仕方（具体的知識）となぜそうすることが大切なのか（汎用的知識）を学習し、それを踏まえて、話し合いへの参加の仕方や試合等における行動の仕方を考え、行動しようとする中で、「かかわる力」が育成されていくと考える。さらに「単元計画や評価の計画」を生徒と共有することで、生徒の「みとおす力」も育成されることを期待する。

○ 「主体的に学習に取り組む態度」の評価の進め方

保健体育科の体育分野においては「学びに向かう力、人間性等」について、愛好的態度、公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全の中から各領域で取り上げることが効果的な指導内容を重点化して示している。本単元ではその中から「参画」と「公正」を取り上げて指導を行う。これらの指導においては、行動の仕方の例などの具体的知識と、そうすることがなぜ大切かといった意義などの汎用的知識を関連させて指導することが、生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を図る上でも大切になる。本実践においても、具体的知識及び汎用的知識を関連させて指導する。単元を通して生徒が自分の思いや考えを整理したり、学びを振り返ることのできる参画シートとフェアプレイシートを作成し活用する。また、知識の理解に基づき、良い行動を判断し、理由とともに表現することができたかについては思考・判断・表現で評価し、思考・判断したことを行動しようとしているかを「主体的に学習に取り組む態度」の評価とする。「主体的に学習に取り組む態度」の評価は主として観察で行うが、思いや考えは行動として見取れない部分もあるため、参画シートとフェアプレイシートの記述も評価材料とする。

	話し合いへの参加の仕方を学ぼう	参画シート
3時間目に記入	①ペアやグループで話し合いをするとき、あなたが心掛けていることがありますか（それはどんなことですか）	
3時間目に記入	②話し合いを活発にするために、参加者はどうしたらいいと思いますか。 ④話し合いへの参加の仕方を書きましょう。 ◎仲間の意見や考えを（ ） ◎自分の意見や考えを（ ）	③みんなが意見や考えを伝え合うことは、どのような良い点があると思いますか。 ◎多くの課題や（ ）が出る ◎自分の考えと（ ）考えや（ ）考えに気付くことができる ◎お互いの考えを知ることができ、お互いを（ ）することにつながる ◎今後どのように参加したいですか、なぜそう考えましたか。《愚①》
学習後9時間目に記入	⑤これまでの体育の授業での話し合い活動への参加の仕方について自己評価をしてみよう ⑥なぜこのように評価しましたか	⑧話し合いへの参加の仕方を学習した後の、話し合いへの参加の仕方について自己評価をしてみよう ⑩今後はどのように参加していきたいですか
	⑧3時間目の「話し合いへの参加の仕方」を学習したあと、あなたはどのように話し合いに参加しましたか。《愚①》	

	『技能を高め、フェアプレイでバスケットボールを楽しもう』	フェアプレイシート
学習前1時間目に記入	①フェアプレイとは	することだと思う
学習中4時間目に記入	②これまでの体育の授業での、フェアプレイへの自分の取り組みについて自己評価をしてみよう 	③なぜこのように評価しましたか
学習中10時間目に記入	④フェアプレイとは ⑥授業中に目にしたグッドフェアプレイを書きましょう《愚②》 ○誰が（誰に）→ ○どういった場面で→ ○どういう行動をしたのか→	⑤フェアプレイを心掛けることが大切なのはなぜか ⑦それがグッドフェアプレイだと考えた理由を書きましょう《愚②》
学習後11時間目に記入	⑧バスケットボールの授業を通して、フェアプレイへの自分の取り組みについて自己評価をしてみよう ⑩今後心掛けたいこと《愚②》	⑨なぜこのように評価しましたか《愚②》 （自分がおこなったフェアプレイを具体的に書きましょう） ○どういった場面で→ ○どういう行動をしたのか→

主体的に学習に取り組む態度①（参画）に関する指導と評価の充実を図るための学習場面

時	3 時間目	4 時間目～12 時間目	9 時間目
学習活動	これまでの参加の仕方を自己評価する。 話し合いの仕方を学び、その意義を踏まえて今後どのように話し合いに参加するのかを考える。 →参画シートに記入する。（思・判・表）	段階的な話し合い活動を行う。 ☞ポイントや課題をペアで伝え合う。 ☞2対2や3対3の場面での動き方や作戦について小集団で話し合う。 ☞5対5の場面での動き方や作戦についてチームで話し合う。  	授業での話し合いへの参加の仕方を振り返り、取り組み状況の記入と自己評価をし、今後どのように参加したいのかを考える。→参画シートに記入する。（態度） 

教師の指導工夫

- ※参加の仕方を調整するよう、声掛けを行った。
- ※参加の仕方を掲示し、いつでも確認できるようにした。
- ※話し合う内容を明確にし、皆が意見を出すことができるようにした。

主体的に学習に取り組む態度①（参画）に関する実現状況と判断の目安と想定される様相の具体例

実現状況	判断の目安	具体的な姿
十分満足できる A	話し合いに参加することの意義の理解に基づき、単元を通して話し合いに常に積極的に参加しようとする姿が見られる。	話し合いに積極的に参加し、話を聞くだけでなく自分の考えを述べようとする姿勢が単元を通して安定して見られる。
概ね満足できる B	話し合いに参加することの意義の理解に基づき、自分の考えを述べたり、相手の話を聞いたりしている。	話し合いにおいて、話を聞くだけでなく自分の考えを述べようとする姿勢が見られる。
努力を要する C	話し合いに参加する理解や意欲が不十分である。	手立てとして、話し合いへの参加の仕方を再確認する。話し合い場面で個別に問いかけたり、発言できる場面を作るようメンバーに声掛けをする。

参画シートの生徒の記述より

3 時間目の「話し合い活動への参加の仕方」を学習した後、あなたはどのように話し合いに参加しましたか。

相手が言った意見に対して、反応したり、質問をして、頭の中でその状況をイメージしながら参加できた。目の前で試合をしている様子を参考にして、作戦や考えを出せた。

主体的に学習に取り組む態度②（公正）に関する指導と評価の充実を図るための学習場面

	1 時間目	4 時間目	10 時間目	11 時間目
学習活動	現在持っている知識の確認及びこれまでの行動の自己評価→フェアプレイシートに記入する。	フェアプレイの意義と価値を学ぶ。 →フェアプレイシートに記入する。 	グッドフェアプレイを見付け、グッドフェアプレイと考えた理由を記述する。 →フェアプレイシートに記入する。（思・判・表）	フェアプレイを守る行動について振り返る。 自分の取り組み状況の記入及び自己評価を行う。また、今後どのような行動をとっていきたいか考える。 →フェアプレイシートに記入する。（態度）

教師の指導工夫

※単元を通して、グッドフェアプレイを見付けるよう呼びかけることで、フェアプレイについて考え、フェアプレイを守ろうとすることを意識づけた。

※4～12時間目の試合等の活動において、フェアプレイを守る行動を意識するよう声掛けし、良い行動を教師が積極的に賞賛した。

※グッドフェアプレイを授業の終わりに発表させ、みんなで共有することで全体への浸透を図った。

主体的に学習に取り組む態度②（公正）に関する実現状況と判断の目安と想定される様相の具体例

実現状況	判断の目安	具体的な姿
十分満足できる A	フェアプレイを守る意義を理解し、マナーを守り、他人の健闘を讃えたり、フェアに競うことに常に取り組もうとする。	勝敗の結果に関わらず、フェアプレイを守ることの意義と具体的行動の理解に基づき、全力で取り組む姿勢や相手や仲間の健闘を認める発言、尊重する態度が単元を通して安定して見られる。
概ね満足できる B	フェアプレイを守る意義を理解し、マナーを守り、他人の健闘を讃えたり、フェアに競うことに取り組もうとする。	フェアプレイを守ることの意義と具体的行動の理解に基づき、全力で取り組む姿勢や相手や仲間の健闘を認める発言、尊重する態度が見られる。
努力を要する C	フェアプレイの意義や取るべき行動への理解が不十分で、マナーを守り、他人の健闘を讃えたり、フェアに競うことに取り組もうとする行動が見られない。	手立てとして、フェアプレイを守ることの意義と具体的行動を再確認する。フェアプレイの具体的行動を提示して選択させ、その行動をとった時の気持ちを考えさせる。

フェアプレイを守ろうとする生徒の様相



◎ 実践の効果

【伸びたと思う力とその理由 「未来シート」生徒の記述より】

（かかわる力）：「ナイス～」や「〇〇～！！」などの声掛けができた。

（かかわる力）：仲間で精いっぱい協力し合えた。

（かかわる力、やりぬく力）：バスケットで伸ばしたい力がいっぱい伸ばせました、自分はシュートが苦手だから、他人と比べてしまうところがあるけど、いっぱい挑戦できたし、チームが勝つために、問題を発見して作戦を立てたりすることもできた。

（ふり返る力、みとおす力）：勝負で自分たちのチームが得点を決めるための、人の配置や作戦を考えることができた。

（やりぬく力、ふり返る力）：相手にいっぱい点数を入れられても、最後まであきらめないでできた、できなかったところや悪かったところを振り返って、改善につなげることができた。

【協力員のアンケートより】

チームで考える場面や話合う場面が増えて、コミュニケーション能力の向上につながった。

明確な見通しを持たせて活動させることで、生徒がスムーズに動いている様子を感じられた。

現段階では教師の指示が必要だが、今後は指示を減らし、生徒主体の活動につなげていきたい。

生徒が思考を整理したり、学びを振り返ることのできる参画シートとフェアプレイシートの活用及び具体的知識と汎用的知識を関連させた指導は、生徒の「かかわる力」や「ふり返る力」を育むことにつながったと考える。また「未来シート」を活用し、教師と生徒がキャリア教育の視点を意識しながら活動したことで、育成したい力を効果的に伸ばすことができたと考える。